

学びの高度化を目指して

令和6年度
小学校高学年における
教科担任制 実践研究事業



奈良県教育委員会

教科担任制導入の目的・趣旨や期待される効果



授業の質の向上

教員が担当する教科数の減少や授業外の時間の増加に伴い、教材研究が充実するとともに、同じ授業を複数回実施することにより、**授業改善が図られ、児童の学習内容の理解が進み学力が高まる**ことが期待できます。

多面的な児童理解

学級担任のみではなく、複数の教員が教科指導に当たることを通じ、**多面的な指導・支援ができる**ようになります。学級担任以外にも相談できる教員がいることで児童の心理的安全性がより高まることが期待できます。また、複数の教員が授業を通じて学年全体の児童の様子に目を配ることとなり、それぞれの教員が担任する学級のみならず、学年全体の状況を常に意識し、児童に関する情報共有等を通じて**教員間の連携が深まる効果**も期待できます。

教員の負担軽減

教員が担当する教科数の減少、授業外の時間の増加により、教材研究の充実等とともに時間外勤務の縮減に寄与するほか、授業交換を実施する場合を含め、授業準備の効率化につながります。学校における働き方改革を更に進めていくことが急務である中、教科担任制を適切に活用することにより、**教育の質の向上と教員の負担軽減を一体的かつ効果的に進める**ことが期待できます。

1

趣旨

- 教科担任制導入による授業の質の向上
- 児童一人一人の理解度・定着度の向上
- 学びの高度化の実現

2

事業内容

- 地域・家庭との連携による指導方法・体制の改善
- 授業改善、指導力向上のための教員研修の実施
- 教材の開発
- 小学校における教科担任制の在り方についての調査研究

3

成果の検証

- 児童、教員、保護者の変容等の把握
- 教員の在校等時間の客観的把握と定量データの提示

多様な子ども一人一人の資質・能力の育成に向けた個別最適な学びを実現する観点からは、GIGA スクール構想による、高速大容量ネットワークと1人1台のデバイスがある環境でのデジタル学習基盤の効果的な活用とあいまって、個々の児童生徒の学習状況を把握し、教科指導の専門性を持った教員によるきめ細かな指導を行うことが大切です。教科担任制の導入により、教員の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校教育活動の充実や教員の負担軽減を実現することで、授業の質の向上を図り、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図ることができます。

これまでの実践校からの報告による

教科担任制導入による効果・意義等



1. 担当する教科について、深く教材研究をすることができ、教員がその分野における知識やスキルを深め、より質の高い教育が提供できる。そのことが、児童の興味関心を高めることにつながり、学力の向上につながっている。
2. 複数の教員が関わることで児童を多面的・多角的にみることができる。
3. 担当する教科が減るため、教材研究にかかる時間が短縮されるため、教員の働き方改革につながる。
4. 複数の学級を一人の教員が担当するので、何度も行っていた準備等にかかる時間を短縮し、他の時間に使うことができた。
5. 学年間を見通した“縦”の指導を進めることができるようになった。
6. 学級担任の負担軽減につながり、児童に対応する時間の確保、教材準備、授業内容の検討などに時間を当て、教育活動が充実した。
7. 専科指導教員からの情報により、学級担任が気付かなかった児童の様子を知ることができた。気になる児童への働きかけについても、専科指導教員からアプローチできることが利点となっている。
8. 全校児童を学校の全教員で育てて指導する、という意識が強くなった。